

第4回定例会

・特集 中学生の見る議会②



**一人ひとりの意見が
より良い町づくり
に**

関東 紗智子 さん

私は議員の皆さんの話し方や態度について注目して聞いていました。相手に話す時は、

渡辺 真由 さん

今日の議会傍聴では、議会に参加している議員の皆さんが、佐呂間町の課題に真剣に向き合っていることがよく分かりました。

議会の内容は、町内の出来事にとどまらず、ニユースでも目にする現代社会における様々な分野の話があり、その理解を深めるには沢山の知識が必要だと思ったので、質疑応答の際にスラスラと発言できるのは凄いと思いました。

他の市町村の状況も参考に、今後の議会が進められていくことも印象に残っています。

今日の議会傍聴で、町の議会がどのように行われているかを知ることができました。

**様々な町の課題を
真剣に協議**



しっかりと相手の目を見て反応をうかがい、答弁を受け取る時にはメモを取り、相づちを打っていました。"目で話す"とはこういう事なんだと初めて理解できました。

それ以外にも、私たち町民のために、議会に参加している皆さん一人ひとりが自分の意見をしっかりと持っている、重要な町の政策について一生懸命に考えてくれていることが分かりました。

この議会傍聴を通して、改めて一人ひとりの意見の大切さを学び、それがあって、より良い町づくりに取り組むことができるのだと思います。

**地域における
議会の在り方**

高橋 芙陽 さん

私はこの議会傍聴で、その地域においての議会がとても大切なことを改めて実感しました。

今回、印象として残ったのが、議会の方々が私たち町民のために真剣に話し合いを行っていたことです。議会ならではの前のことだと考える人もいると思いますが、その当たり前を議会の方々が続けてくれているおかげで、私たちの豊かな生活が守られ、さらに良くなると思えば議会という存在はとても偉大であると思います。

私たちの暮らしは、色々な人の行動の上で成り立っていることを胸に刻み、感謝を忘れずに一日一日を大切にしていこうと思います。

そして、私が行動する側の人になったら、誰か一人のためでも全力で考え、全力で取り組もうと思います。



第4回定例会

・特集 中学生の見る議会①

特集 中学生の見る議会

佐呂間中学校3年生が「総合的な学習」の一環として、12月14日に行われた第4回定例会の一般質問を傍聴しました。ここでは生徒の感想の一部をご紹介します。



**議場での
質疑応答を体感**

斎藤 パメリア 美莉 さん

私は今回の議会傍聴を通じて、町のために議論を重ねる議員の方々の凄さを体感しました。

例えば、最初に質問をした高橋議員は、元の質問から幅を広げて様々な突っ込んだ質問をしていました。高橋議員だけではなく、どの議員の方も町長や教育長の答弁を聞き「これはどうなっているのか」と、私では気付けなかった沢山のことを問いかけていました。

私は議会傍聴をしていて、気付けるということは将来強い武器になると思いました。これからは、私も色々なことを知り、色々なことに気付けるようになっていきたいと思います。

**町民目線での
話し合い**

荒田 憲昭 さん

私が議会傍聴を通して感じたことは、議会に参加してい



当り前のことですが、議会に参加している方々も佐呂間町で生活している住民です。私たちと同じようにこの町の良い所、悪い所、便利な所、不便な所を感じながら生活していて、町民の意見に心から共感し、この町を良くしようとする議員の方が熱弁している姿は、とても格好良かったです。

これからは、今回の経験を活かして、町や学校を少しでも良くできるように自分の出来ることを頑張っていこうと思います。